

日本共産党大田区議会議員

あらお大介区政ニュース

発行：あらお大介事務所 〒146-0093 大田区矢口1-23-27
携帯 090-7328-9567 FAX 03-3757-9883

さわやかサポート人員強化 地域ケア会議、応急小口資金の充実を



2017年度予算要望の懇談会



日本共産党大田区議団は区内の各団体の皆さんと2017年度予算への要望懇談会を行いました。

毎年夏の時期に予算要望懇談会を開いて、区民の皆さんの切実な要求を聞き取り、次年度の予算要望書を取りまとめて、区に対して提出し回答を頂いています。

今年も障がい者団体、業者団体、労働組合など様々な団体から幅広い意見や要望を聞き、区民の皆さんが抱えている切実な声を聞きました。

各団体の皆さんから出された要望をしっかりと区政に反映させるよう共産党区議団として全力で取り組みます。



区議会第3回定例会の決算特別委員会で、福祉費関連で質疑を行いました。

まず、さわやかサポート（地域包括支援センター）の機能強化について、さわやかサポートの重要度が増す中で機能強化は必要であるが、人員拡充と人材育成の強化をまず実施するよう求めました。続いて、地域ケア会議について、高齢者の立場でより良い地域をつくる議論をす

ることと、ケアマネ連絡会の皆さんの要望でもある、ケースに直接かかわっていないケアマネジャーの個別・圏域レベル会議への参加を認めるよう求めました。

応急小口資金については、福祉的側面で区がこの事業を実施しているが、より利用しやすい事業になるよう区としてさらに努力することを求めました。



Facebook、Twitterもご覧ください。メールでのご相談お気軽に。

ホームページ・ブログ：<http://araodaisuke1226.jcp-ota.jp/>

メールアドレス：daisuke-arao@jcp-ota.jp

Twitter：[@araodaisuke](https://twitter.com/araodaisuke)

Facebook：<https://www.facebook.com/araodaisuke>

区内シニアステーション 小規模保育所を視察

共産党区議団は9月23日、シニアステーション東嶺町と、このえ鶉の木小規模保育園を視察しました。

シニアステーションとは、さわやかサポート（地域包括支援センター）と老人いこいの家とを一体的に運営し、介護予防と高齢者の元気維持、社会参加から介護サービスへと「切れ目のない」支援を行う施設で、今年度から嶺町、田園調布地域でモデル的にスタートしました。

現在3箇所あるシニアステーションのうち、東嶺町にある施設を訪問し、職員の方から施設の説明を受けました。健康体操

や講座など様々なメニューが実施されている一方、和室が有効活用されていなかったり、ミストシャワーが使いづらい（操作盤が小さく、高齢者には使いづらい）などの問題点が明らかになりました。この事業を充実させるためにも、予算の拡充が必要と思いました。

このえ鶉の木小規模保育園は鶉の木商店街内に立地していて、地域活動にも積極的に取り組んでいる保育園です。小規模保育所は子ども・子育て支援法に基づき2015年4月から地域型保育事業として区が認可した定員19名までの保育所です。入所

要件と保育料は認可保育園と同じですが、対象は1、2歳児で3歳児以上は利用できません。

今回訪問した小規模保育園はビルの1階に入っていて、中は新しく広々とした印象を受けました。園庭がないために近くの公園を利用しているとのことでしたが、公園までの距離が少し離れていたのが気になりました。

大田区は待機児解消対策として小規模保育所の設置を進めています。保護者の皆さんの多くが望んでいるのは認可保育園の増設であり、区として真の待機児数に見合った認可保育園の整備をこれからも求めます。



「シニアステーション東嶺町」と「このえ鶉の木小規模保育園」を視察しました

法律相談もお気軽に

10月21日(金) 午後4時～

場所 あらお大介事務所

11月10日(木) 午後1時～

場所 区議団控室 (区役所)

(事前予約が必要です。電話かFAXでお申し込みください)

今後の予定

区政報告会

10月25日(火) 午後6時30分

ラズ大森 4階 (大森北1丁目)